



Sustainable
Value Plan
2030

自社の働き方変革を、誰もが「働きがい」を得られる社会への変革に発展させる

働き方

社会課題

技術革新とグローバル化で企業競争が激化するなか、企業が持続的に成長していくためには、業務の効率化とともに多様な人材を生かし、一人ひとりの個性や創造性を発揮できる“働きがい”のある環境の提供が求められています。そのためには、時間、場所、言語、性別、年齢や障がいの有無といった様々な制約から解放されたコミュニケーション環境、ライフスタイルの変化に合わせて選択できる労働環境など、新たな働き方に対応する仕組みの構築が必須です。



富士フィルム
グループが
SVP2030で
目指すもの

(重点課題)

1. 働きがいにつながる環境づくり
2. 多様な人材の育成と活用

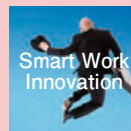
富士フィルムグループは、身近な紙の情報を電子情報と融合し、さらにはクラウドサービスやモバイルソリューションとシームレスに統合することによって、社会のコミュニケーション環境を進化させてきました。デジタルデバイドを意識することなく、誰もが容易に様々な形態の情報にアクセスし共有することにより、オフィスや行政機関、教育や医療の現場など、あらゆる場所でのサービスのあり方や働き方の可能性を広げていきます。富士フィルムグループは自社の働き方変革の研究・実践を踏まえて得た、私たちならではの「人」を中心においた「Better Communications」を通じて、コミュニケーションの価値を高め、新たな時代の多様な働き方を支援していきます。一方、グループ内の各従業員の成長・能力の発揮が、自社のみならず事業を通じて社会の発展にも貢献すると考え、多様な従業員が活躍できる仕組みづくりも進めています。

2018年度の活動ポイント

OUTPUT

OUTCOME

価値提供戦略
「Smart Work Innovation」
の提供



社会の
働き方変革を
促進

ICTを活用した
業務効率化



自社の働き方変革の
推進とノウハウ活用
による社会での
効率化支援

多様な人材
活躍のための
仕組み・
職場作り



自社における
ダイバーシティの
推進

